学校番号	2001

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	化学 Vol.2 物質編　（東京書籍出版）						
副教材等	ニューグローバル化学基礎＋化学　（東京書籍出版） 大学入学共通テスト対策チェック＆演習化学　（数研出版） サイエンスビュー化学総合資料　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学の基本的な概念・原理の理解を深め，化学の様々な現象やその法則を理解します。特に，3 年生では，様々な無機物質や有機物質について学習しますが，単なる暗記に頼るのではなく，なぜそういう反応が起きるのかといった原理を理解し，系統的に学習することが重要になってきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

化学的な事物・現象に関する基礎的な知識および基本的な概念や原理・法則を，深く系統的に理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

物質やその変化に関する原理・法則を系統的に理解し，正しい物質感を身に付け，自然界の事物・現象を分析的，総合的に考察する能力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】

理論化学における物質とその変化について，化学的な解釈や説明ができることを通して，興味・関心を探究心にまで高め，知的好奇心をもって主体的に解決しようとする意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	自然の事物･現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	無機物質	非金属元の単体と化合物	a：気体の製法と性質について理解する。 b：周期表に基づきながら，酸化物の示す性質や単体の酸化作用，還元作用を説明することができる。 c：硝酸や硫酸について，実験室での製法と工業的製法の違いについて興味を持ち，化学的に考察しようとする。	定期考査 小テスト 実験	定期考査 問題演習 実験	授業プリント 観察
		典型・遷移元素の単体と化合物 金属イオンの分離と確認	a：ナトリウムと水との反応や，アンモニアソーダ法に関わる反応など，金属の化学反応式を書くことができる。 b：金属イオンの系統分析の考え方を用いて，複数の金属イオンが存在する水溶液から目的の金属を分離，確認することができる。 c：金属の精錬の過程について興味をもち，化学的に考察しようとする。	定期考査 小テスト 実験	定期考査 問題演習 実験	授業プリント 観察
2学期	有機化合物	有機化合物の特徴と構造 炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物	a：有機化合物の分類について，炭素骨格での分類や官能基による分類を理解する。 b：反応性や検出法，酸の強さなど化学的性質に基づいて，有機化合物の構造式を判断することができる。 c：有機化合物の特徴や構造，反応性について興味をもち反応系統図について理解しようとする。	定期考査 小テスト 実験	定期考査 問題演習 実験	授業プリント 観察

		高分子化合物の性質 天然高分子化合物	a：単糖，二糖，多糖に分類されるそれぞれの糖類の化学式と構造，名称，反応性について理解する。 b：高分子化合物の重合の方法や分子量，特徴について理解し，量的計算を行うことができる。 c：天然高分子の構造や分類，性質について興味を持ち，化学的に考察しようとする。	定期考査 小テスト 実験	定期考査 問題演習 実験	授業プリント 観察
3学期	高分子化合物	合成高分子化合物	a：合成高分子化合物の特徴やその重合方法，構造について理解し化学的に分類することができる。 b:ナイロン66，ナイロン6，ポリエチレンテレフタラート，ポリエチレン，ビニロンなどの合成繊維の製法について化学反応式で表すことができる。 c：合成繊維の特徴やその重合方法，構造，利用例について興味をもち化学的に考察しようとする。	定期考査 小テスト 実験	定期考査 問題演習 実験	授業プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度